



本資料は、生成AI（Copilot Cowork）を用いて作成した出力結果の試行例です。生成AIの性質上、内容に誤りや不正確な記載が含まれる場合があります。



KYOTO PREFECTURAL GOVERNMENT

General Plan / 令和5年度 ~ 令和9年度

# 京都府総合計画

PLAN PERIOD

2023.4 — 2027.3

令和5年4月1日～令和9年3月31日

～ あたたかい京都づくり ～

*Building a Warm, Resilient Kyoto — Summary Brief for Executives*

EXECUTIVE

BRIEF

## EXECUTIVE SUMMARY

# 計画の骨格 — 4年間で描く、あたたかい京都の姿

人口減少・超高齢化、グローバル化、気候危機、デジタル化の加速——社会が大きく転換する今、京都府は「安心・温もり・ゆめ実現」の3つの視点で、府民一人ひとりの暮らしと未来を支える総合計画を策定。

## 4年

計画期間

令和5年度～令和9年度

## 3視点

あたたかい京都

安心・温もり・ゆめ実現

## 4姿

2040年将来構想

長期展望で描く京都像

## 8+8+20

基本計画の構成

ビジョン／連携PJ／分野施策

**M1**

「安心・温もり・ゆめ実現」の3つの視点で、府民の暮らしに寄り添う。

**M2**

2040年を見据えた長期構想と、4年間の基本計画を同時に提示する二層設計。

**M3**

8ビジョン × 8広域連携PJ × 20分野施策で、重層的かつ実行可能な展開。

## PLAN POSITIONING

# 京都府の最上位計画として、長期と中期を結ぶ

本計画は、京都府のあらゆる施策の基本となる最上位の総合計画。概ね20年後（2040年）の将来像を示す「将来構想」と、それを実現するための4年間の「基本計画」を一体的に策定。

## TIMELINE

## 2023 — 2040 の二層構造

**LONG-TERM VISION**

### 将来構想

Horizon ~ 2040

概ね20年後の京都府が目指す姿。人口減少・超高齢化・DX・脱炭素など、構造変化に応じた4つの社会像。

**MID-TERM PLAN**

### 基本計画

Period 2023-2026

4年間で府として取り組む戦略的事項と分野別基本施策。8ビジョン、8広域連携PJ、20分野の施策体系。



※ 長期構想と中期計画を一体的に示すことで、短期施策の実行と長期ビジョンの整合を両立。

THREE VIEWPOINTS

# あたたかい京都づくり — 3つの視点

府民一人ひとりの暮らしを支える3つの視点。それぞれが独立しながらも、重なり合って「あたたかい京都」を形づくる。

01 SECURITY

## 安心

年齢・性別・障がいの有無・経済状況・地域にかかわらず、誰もが安心して暮らせるセーフティネット。

- 医療・福祉・子育て
- 防災・減災
- 暮らしのセーフティネット

02 WARMTH

## 温もり

人と人、地域と地域のつながりを大切にし、多様な個性が活かされる包摂的な社会を育てる。

- 地域コミュニティ
- 多様性と共生
- 文化・精神性の継承

03 DREAMS

## ゆめ実現

挑戦する意志を応援し、学び・創造・起業を通じて、一人ひとりの夢が京都で実現する社会へ。

- 教育・学び・若者支援
- 産業・イノベーション
- 文化・スポーツ・創造

「あたたかい」はスローガンではなく、政策判断の基準。府のすべての施策は、この3視点から設計される。

LONG-TERM VISION — 2040

# 将来構想 — 20年後、京都府が目指す4つの姿

# 2040

令和22年 / 京都の姿

人口構造の変化、DX、脱炭素、価値観の多様化—  
—これらが進んだ先の京都が、どのような社会であってほしいか。

01

## 人と地域の絆・活力

多様な人が関わり合い、地域に活気が満ちる社会。

02

## 文化の力で日本を牽引

文化芸術の蓄積と創造性で、京都が日本を前に進める。

03

## 産業・交流で世界に開かれる

豊かな産業基盤と国際交流で、世界から選ばれる京都。

04

## 環境と共生・安心安全

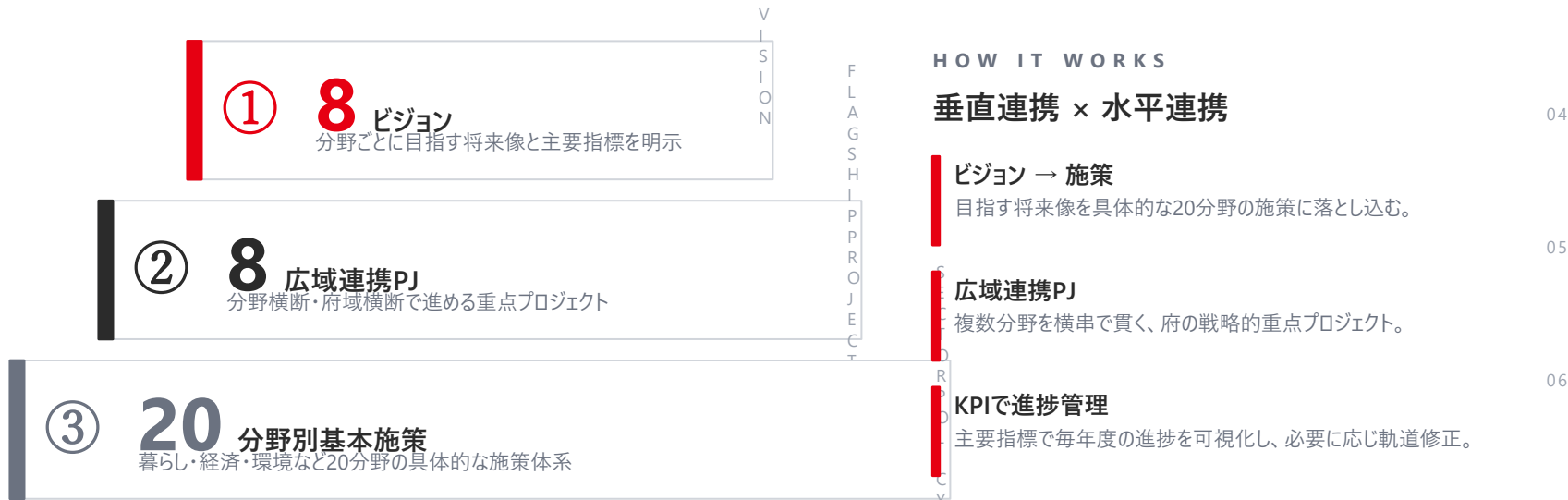
脱炭素、生物多様性、防災。次世代に手渡せる京都。

※ 4つの姿は独立せず、相互に補完しあう。安心が活力を生み、活力が文化を育て、文化が世界とつながる。

## PLAN STRUCTURE

# 基本計画の構成 — 3つのレイヤーで施策を束ねる

基本計画は3つのレイヤーで構成。方向性を示す「ビジョン」、府域横断の「広域連携プロジェクト」、具体実行の「分野別施策」が連動して動く。



3層が連動することで、方針の抽象性と施策の具体性を両立し、実効性ある計画として機能する。

## VISIONS

# 8つのビジョン — 分野別の将来像

暮らし・人づくり・産業・地域・環境の各分野で、府が目指す将来像を8つのビジョンとして提示。

01

## 子育て・若者

子育て環境日本一と若者の挑戦を支える。

02

## 誰もが活躍

多様な個性が活きる、包摂の社会へ。

03

## 健康・長寿

生涯を通じ健やかに暮らせる基盤。

04

## 教育・学び

創造性と挑戦を育てる学びの場。

05

## 文化・スポーツ

文化力を京都の競争力へ。

06

## 産業・経済

イノベーションと高付加価値化。

07

## 地域・交流

多彩な地域が活力を生み出す。

08

## 暮らしの安心安全

防災・医療・共生のセーフティネット。

※ 各ビジョンには主要指標（KPI）を設定し、毎年度の進捗を「見える化」。数値は府政策企画部門で管理。

## FLAGSHIP PROJECTS

# 8つの広域連携プロジェクト — 分野を横断する推進力

分野別施策だけでは解けない課題に対し、府・市町村・民間が連携して取り組む重点プロジェクト。



※ 各PJは複数のビジョンを横串で貫き、府・市町村・民間・大学が連携して推進。

## SECTOR POLICIES

# 分野別基本施策 — 20分野の実行体系

府民生活のあらゆる面をカバーする20の政策分野。各分野はビジョンと連動し、KPIで進捗を管理する。

<b>LIFE &amp; PEOPLE</b> 暮らし・人	<b>CULTURE &amp; CREATIVITY</b> 文化・創造	<b>INDUSTRY &amp; INNOVATION</b> 産業・経済	<b>REGION &amp; SAFETY</b> 地域・安心
<b>01</b>   子育て・若者	<b>06</b>   文化芸術	<b>11</b>   産業・雇用	<b>16</b>   地域づくり
<b>02</b>   健康・医療	<b>07</b>   スポーツ	<b>12</b>   農林水産	<b>17</b>   交通・インフラ
<b>03</b>   福祉・共生	<b>08</b>   観光	<b>13</b>   科学技術	<b>18</b>   防災・減災
<b>04</b>   教育・学び	<b>09</b>   国際交流	<b>14</b>   DX・デジタル	<b>19</b>   環境・脱炭素
<b>05</b>   人権・多様性	<b>10</b>   学術・大学	<b>15</b>   中小企業	<b>20</b>   安心・安全

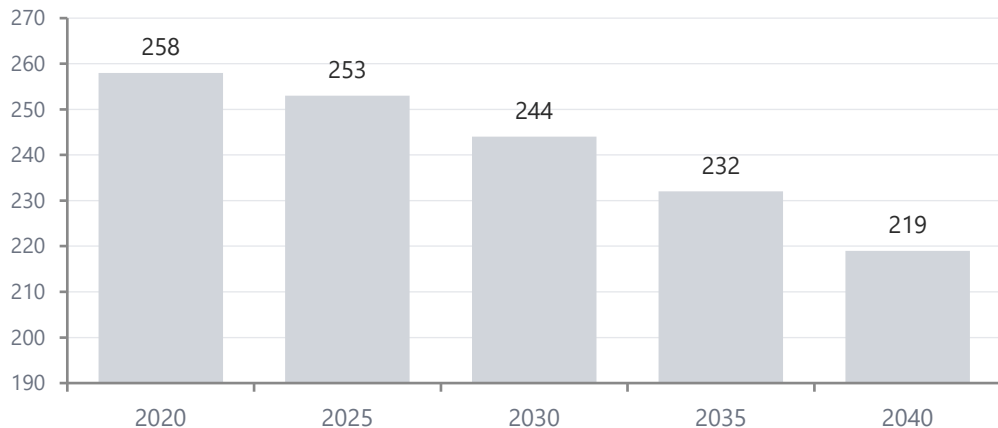
※ 20分野の具体的な施策・事業は、毎年度の予算編成と行政評価で計画的に展開。

## IMPLEMENTATION CONTEXT

# 実現に向けて — 人口動態と進捗管理の枠組み

## 京都府の推計人口（2020 → 2040）

POPULATION OUTLOOK / 万人



▼ 2020→2040で約15%の人口減少 構造変化を前提に政策を設計

出典：京都府総合計画（令和5年3月策定）、推計人口は国立社会保障・人口問題研究所の推計等を基に作成。

## 進捗管理の仕組み

GOVERNANCE &amp; KPI MANAGEMENT

計画期間	令和5～9年度（4年間）
------	--------------

進捗確認	毎年度の行政評価
------	----------

主要指標	ビジョン・分野ごとにKPI設定
------	-----------------

推進体制	府・市町村・民間の連携
------	-------------

情報公開	府ホームページで随時公表
------	--------------

府民とともに、  
あたたかい京都を、  
次の20年へ。

「安心・温もり・ゆめ実現」を軸に、8ビジョン × 8連携PJ × 20分野で、  
府民の暮らしと京都の未来を、一貫した戦略で支えていく。